

工藤篤子メールマガジン14号

2002.08.02

●スペイン旅行



ハレルヤ!

7月15日～28日間のスペインの素晴らしい旅行を終えて、ハンブルグに戻りました。

皆さんのお祈りに心から感謝いたします!

といっても、8月1日～4日、ウィーンでの「ヨーロッパ日本人キリスト者の集い」に参加する

ので、大慌てで讚美奉仕の準備にとりかかっているところです。まずは皆さんにスペインの報告をさせていただきますね。スペインの素晴らしい風景を皆さんにお届けすることができないのが残念ですが・・・

写真：マドリッド日本語で聖書を読む会のみなさんと 私が抱いているのは、後ろ右のハンナさんの赤ちゃん

7月15日～21日 タラゴナ

スペインはカタルーニャの、ローマ時代の遺跡の宝庫として有名なタラゴナ市で国際音楽セミナーが開催されました。声楽講師は歌唱法の第一人者のチョバ女史。実は、私は以前から彼女のレッスンを一度受けたいと思っていました。「体系的に論理的に自然な発声法を教える人」、と聞いていたからです。セミナーでは、私が信仰を通して内側から得てきた発声法を、今度は外側から理論的にはっきりとしたことばで説明してもらった、という感じでした。そして彼女も、「音楽は心から出るもの、だから心と結びついていない発声テクニックは意味がない。」と強調していました。彼女の自然な発声法も心から発しているのです。21日の日曜日は、タラゴナのバプティスト教会の礼拝に参加させていただきました。ひっそり訪れたはずが、礼拝直前に、牧師先生から何か讚美してもらえませんか、と言われ驚きました。牧師先生は私をすでにセミナーのコンサートで見かけていたのだそうです。それで Amazing Grace を讚美させていただきました。会衆賛美も素晴らしく、牧師先生の優しくかつ明快なみことばのメッセージに、そして主にある兄弟姉妹との交わりにととても強められました。素晴らしい一日でした。

7月22日 バルセロナ、リセオ劇場

バルセロナのリセオ劇場は、ヨーロッパで一番大きなオペラ劇場です。そこで歌っているメルセという友人が招待券をくれました。この日はモーツァルトの「魔笛」でした。すごい!と思ったのは、オペラではなくて、ステージ上の電子掲示板のテキストが見えないバルコニー席のそれぞれに置かれている小さな機械でした。それは何と、スペイン語、カタロニア語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語の訳を選んで見る(読む)ことができるのです。

EU加入後のバルセロナでは、ドイツにより一歩進んでる面がたくさん見受けられました。

7月23日 モンセラットの修道院、イグナシオ修道院(イエズス会)、ピレネー山脈一年ぶりにモンセラットのサン・ベネット女子修道院(ベネディクト派)を訪れました。またここで讚美、

それからピレネーに向かいました。モンセラットの女子修道院長のマザー・アバデッサと、日本人修道女のマリア・ヨリコさんが避暑のために数日こちらに来ていたからです。

途中、イエズス会の創始者、イグナシオ修道院に立ち寄りしました。軍人であったイグナシオ・デ・ロヨラは、モンセラットの修道院で回心し、そこに剣を置いて、近くの洞窟で神に祈り、イエズス会設立に導かれたと言われています。そこに建てられたのがこのムナスターリ・ダ・イグナーシ（カタロニア語で「イグナシオ修道院」という意味）です。イグナシオはその後、フランシスコ・ザビエルとパリの修道院で出会います。二人は世界宣教の熱い思いで結ばれます。この出会いを通して、日本にも福音が届けられたのです。また、ドメニコ派の創始者、ドミンゴ神父もこの近くの村に生まれました。カタルーニャ地方はたくさんのカトリック宗派の発祥地です。

午後4時、やっとピレネー山脈の村、ファルガに辿り着きました。マザー・アバデッサ、マリア・ヨリコ姉妹と楽しいひとときを過ごしました。日本の某有名化粧品会社の社長秘書をしていたマリア・ヨリコ姉妹の劇的な回心については、いつか皆さんにお分かちしたいと思っています。夕方6時、マリア修道会の神父が教会の鐘を鳴らしました。すると、そこで音楽合宿をしていた子供達が200人ほど集まってきました。そこでコンサートをしました。全部信仰の歌です。伴奏者なしのアカペラでしたが、こんなに拍手喝采を受けたことは今までありませんでした。マリア・ヨリコ姉妹が言いました。「あなたではなくて神の力ですね。」 Si, eso es! (その通りです!)

7月27日 マドリッド日本人聖書を読む会

この日、マドリッドは40度という暑さでした！レティーロ公園とアトーチャ駅の間にある街路に並ぶ古本屋めぐりをした私はさすがにまいりました。けれども貴重な文献を見つけることができました。

夕方、2ヶ月ぶりに、再びマドリッドの集会に参加させていただきました。参加者はハンナさん、清水さん、のぞみさん、小野さん、カーリナさん。梅原ご夫妻は、この日セビーリャからマドリッドに引っ越してきたので集会には参加できませんでしたが、夕食会に駆けつけて来られました。ハンナさんは小さなお子さんを抱えながら、本当によくがんばっておられます。日本人集会の祝福のために、引き続きお祈り下さい。

7月15日から24日まで同行した歌の生徒のSさんは、旅行中、時間があれば信仰書を読みふけていました。彼女のためにも引き続きお祈り下さい。

次回のメルマガ発送は、少し夏休みをいただいて8月末にさせていただきます。

みなさん、暑さの中、健康にはくれぐれもご留意くださいね。

今度は「ヨーロッパ日本人キリスト者の集い」の報告をさせていただきます。

祝福を祈りつつ

工藤篤子



【 事務局より 】

1. 工藤篤子音楽ミニストリーズの支援者となってくださる方を募集しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

事務局 〒541 - 0041 大阪府中央区北浜2丁目3番10号
VIP 関西センター8F
ミッション「宣教の声」方
工藤篤子音楽ミニストリーズ事務局
TEL 06 - 6226 - 1334 FAX 06 - 6226 - 1336

2. 「中国 上海・杭州の旅」

このたび、ミッション「宣教の声」では中国、日本クリスチャンとの親善交流と観光を兼ねた「中国 上海・杭州の旅」を計画するように導かれております。賛美リーダーとして工藤篤子女史が参加します。

・